

## 第17回 大阪科学賞 平成11年度(1999年度)

受賞者氏名： 辻本 賀英(つじもと よしひで)

所属(受賞時)： 大阪大学大学院 医学研究科 教授

業績： 細胞死抑制遺伝子 bcl-2 の発見と細胞死の分子機構の解析

染色体転座により活性化される新規のがん遺伝子bcl-2の単離同定、およびその細胞死抑制機能の発見を契機に、その後一貫して細胞死の分子メカニズムの解析を行った。Bcl-2機能の生化学的基盤の解明および細胞死(アポトーシスとネクローシス)のシグナル伝達機構、実行過程の分子レベルでの理解に、新規分子の同定などを通し大きく貢献をすると同時に、細胞死研究をヒトの疾患治療に結び付けるトランスレーショナルリサーチにも勢力を注ぎ、疾患治療へのストラテジの構築にも貢献している。